



第37号

2025年発行

丹波市農業委員会だより



【青垣町東芦田 株式会社百姓屋あしだ】

青垣町東芦田集落の地域計画目標地図を手に、「家族の絆」で集落の農地・農業を守っていきたいと考える「株式会社百姓屋あしだ」ご家族の集合写真。

現状の経営面積は水稻を中心に小豆、黒豆など約 22 ヘクタールとなっており、当面は 30 ヘクタールを目指している。

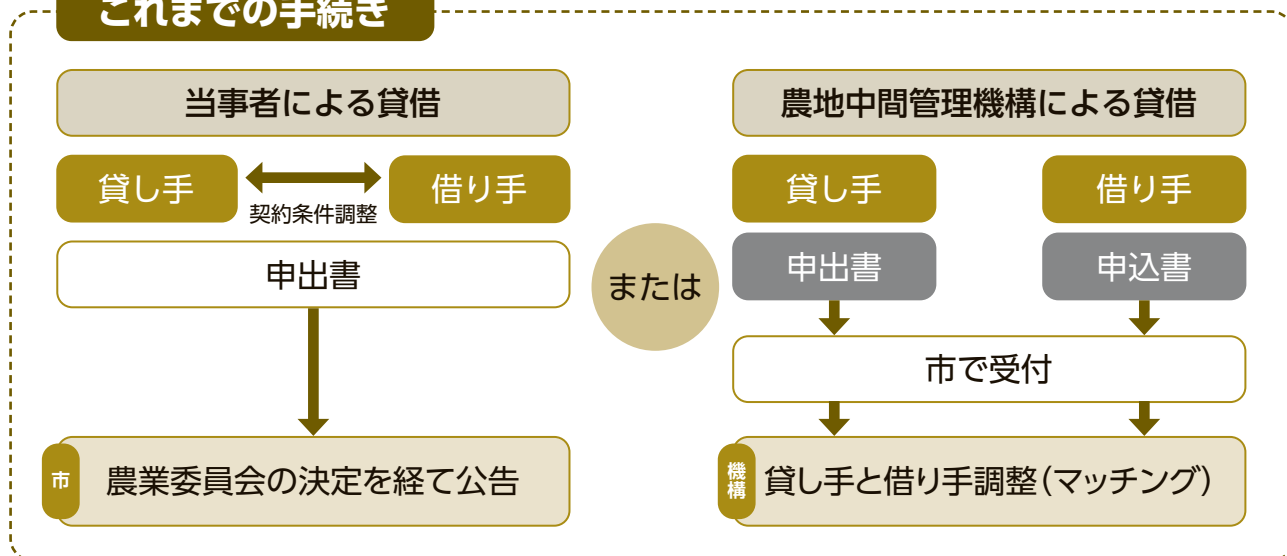
- ◆農地の貸し借りの手続きが変わりました・・・・・・・・・・・・・・ 2 ページ
- ◆農地中間管理機構による貸借の流れについて・・・・・・・・・・・・ 3 ページ
- ◆農業者年金について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 ページ
- ◆地域からのたより・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4～5 ページ
- ◆丹波市農業委員会総会・委員研修会の開催・・・・・・・・・・・・・・ 6 ページ
- ◆農地パトロールの実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 ページ
- ◆農地の賃借料情報について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7 ページ
- ◆女性農業委員の活動紹介・地域計画の策定状況・全国農業新聞について・・ 8 ページ

農地の貸し借りの手続きが変わりました

【変更のポイント】

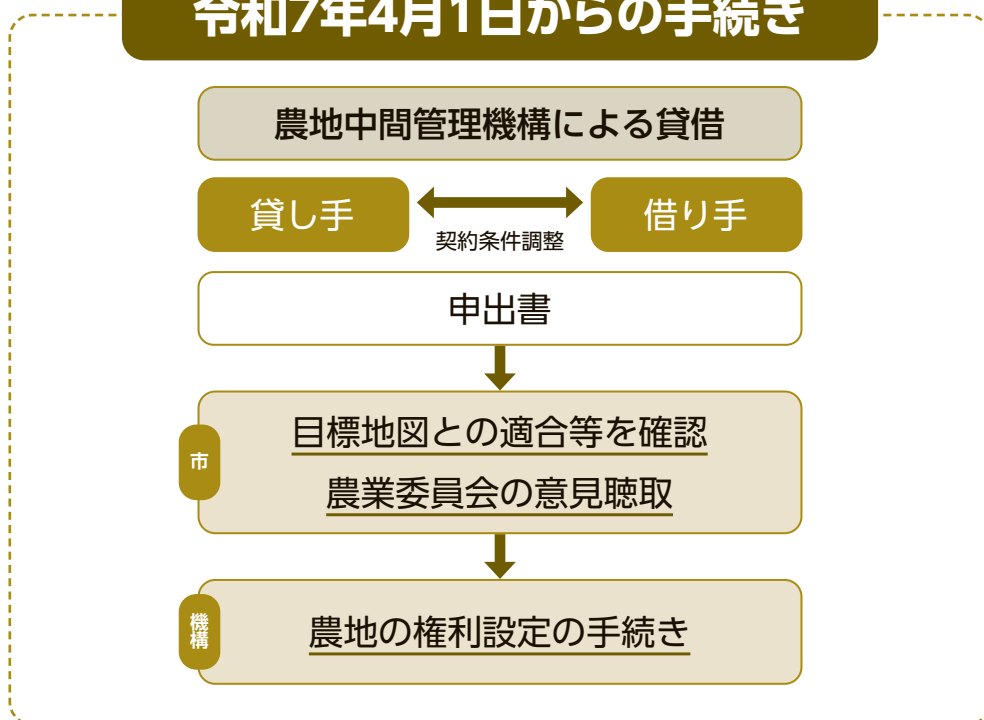
- ① 令和5年4月1日の農業経営基盤強化促進法の一部改正により、令和7年4月1日から利用権設定での農地の貸し借りが出来なくなりました。
- ② 令和7年4月1日以降は、農地中間管理機構（以下「機構」という。）を利用した貸借、または農地法第3条による貸借となっています。
- ③ 賃貸借の場合は、機構が、借り手から賃料を徴収し、貸し手に支払います。

これまでの手続き

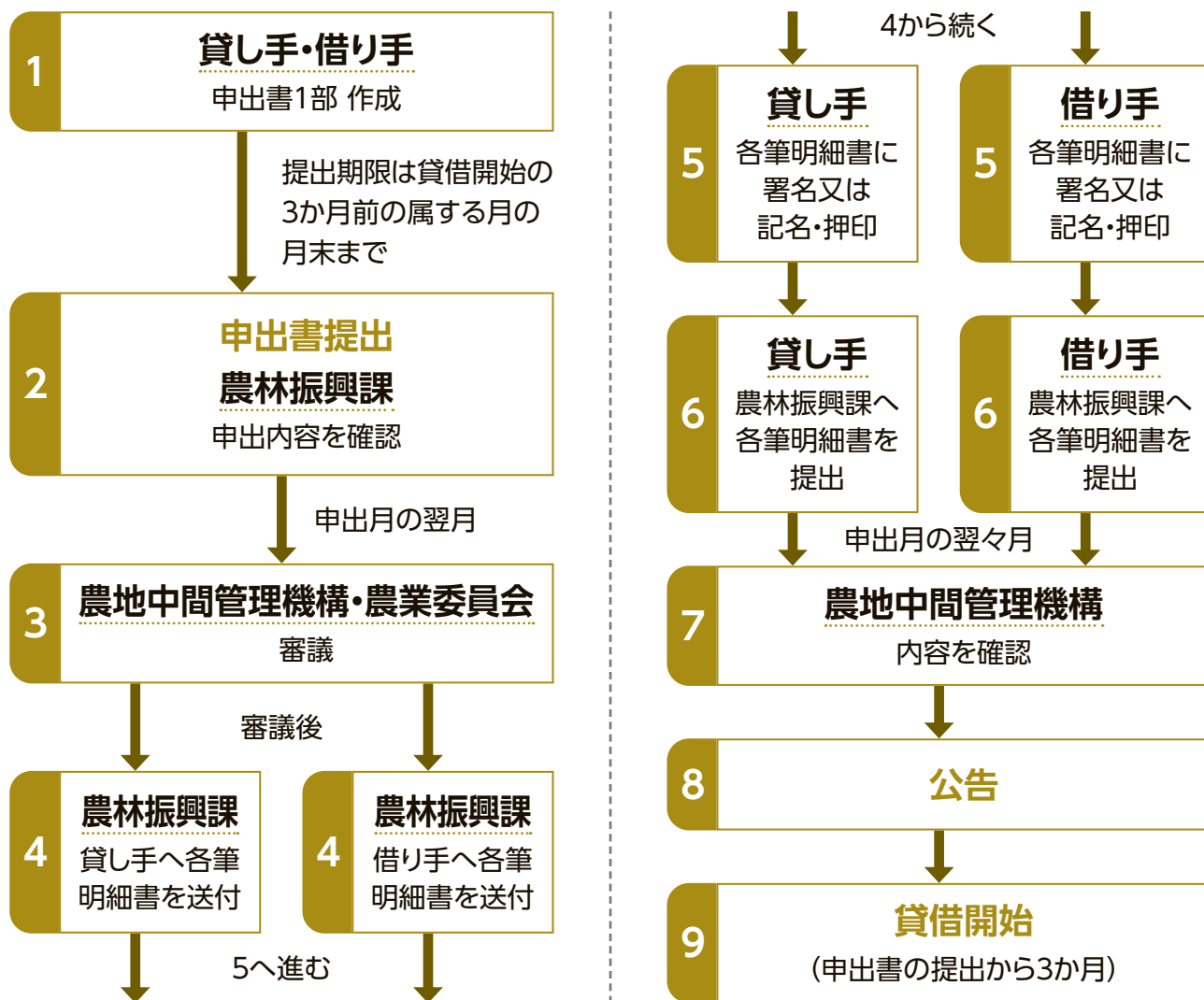


※手続き方法一本化

令和7年4月1日からの手続き



農地中間管理機構による貸借の流れについて



提出及び
問合せ先

● 農林振興課 農村保全係 電話 0795-74-1707

※申出書は各支所（春日支所を除く）又は農林振興課に配置されています。
また、丹波市ホームページ（ID：1337）にも掲載されています。 QRコード



農業者年金は 積立年金

安心して豊かな老後のために農業者年金に加入しましょう！

農業者年金加入条件

次の要件を満たす方は
どなたでも加入できます。

- ① 60 歳未満の方
- ② 年間 60 日以上農業に従事（配偶者・後継者も可）
- ③ 国民年金第 1 号被保険者

農業者年金のメリット

- ① 保険料は全額が社会保険料控除され節税になります
- ② 政策支援加入で国庫補助が受けられます
- ③ ライフステージに応じて保険料を変更できます
- ④ 確定拠出型のため安心な年金制度となっています

対象は認定農業者、認定新就農者で青色申告をしている人。
このほか、上記の家族経営協定を結んだ配偶者や後継者も対象になります。
収入が多い時は保険料を増やせば節税メリットも拡大します。



地域からの たより



農を通じて

柏原町下小倉

小西 利明

昨今、令和の米騒動・・・テレビ等のニュースで毎日のように報道され、米づくりや農業が世間的にも大きな話題となり、

今まで農業や米づくりに関心が低かった周囲の人達が高い関心を抱かれ、いろいろと米づくりや農業について尋ねられることが増えました。

そんな時こそ、農業人口が増加するチャンスだと思っています。農業者の高齢化、後継者不足、遊休農地に絡む地域環境等、これから未来に向けてどの地域も深刻な課題になっており、大規模化や農地集積も大切な方法ですが、根本的な解決策には至らないと考えます。

丹波市には、新規就農を実現させたいという志がある方々をサポートする「農の学校」があり、農業人財という種を撒かれ、夫々の果実を实らせておられます。とても素晴らしいことだと考えています。このような取り組みの裾野を広げられたなら、丹波市が農業人口増加率日本一となり、農業を取り巻く様々な課題解決を成し遂げられる日が来るのではないかと・・・考えています。

自分で栽培したものが「いちばん信頼できて、美味しい。」

・・・私が思うに多分、他の農家さんも一緒だと思います。家族みんなで農作業を行い収穫したものをみんなで楽しく美味しくいただける時間、私がささやかな幸せを感じる時間です。

『マイシア』を家族のシンボルとして、今後もささやかな幸せの種をまき、ささやかな幸せを農業で作り出していこうと思っています。



【小西利明さん(左から3人目)とご家族】

青垣で育む、
未来をつなぐ農業



青垣町山垣

丹波ブルーベリーガーデン

足立 真

五年前に大阪からUターンし、青垣地域で農業を始めました。現在は、米・枝豆や約千五百本のブルーベリーを栽培し、道の駅やスーパーに出荷しています。

地域の自然や人の温かさに支えられながら、安心・安全で美味しい農産物を届けることを大切にしています。

今後は観光・体験農園としての展開を目指し、地域に雇用を生み出しながら、都市部から人

を呼び込み、地元のにぎわい創出に貢献したいと考えています。また、自身の経験を生かし、体に無理のない持続可能な農業にも挑戦中です。



【足立真さんとお子さん】

むいむいファームについて

市島町喜多

むいむいファーム

嶺尾 洋人

市島町の鴨庄で野菜を中心に農業をはじめ、この春で四年目となります。

むいむいファームという屋号は、前職の児童福祉の仕事をしてきた頃、幼児さんとしやべるときに虫のことをむいむいさんと呼んでいたことに始まりま

す。畑に立つと、多種多様な生き物たちの世界が広がっていることに気づかされます。農家にとっては駆除すべき不必要な雑草や害虫であっても、自然という大きな循環の中では役割があり意味がある。

無為自然ありのまま、何かしようとしなくても天地は全てのことを為している。むいむいさん・無為自然、これが屋号に込めた私の想いです。

肥料や農薬は施さず、自然の循環の力を最大限に生かす自然栽培にひかれ、野菜が持つ生きる力を最大限発揮してもらえよう、日々畑と向き合っています。人の手でコントロールできるのは土の物理性に対するアプローチと環境づくりくらいなので、私が育てましたというより、野菜が育ってくれましたという感覚です。お客さ

んに食べて頂く時に、味や栄養素も大切ですが、野菜がどんなところで生まれ育ち、どんな生き方をしてきたのかに思いを馳せてもらえるよう、就農当初から収穫体験やSNSでの発信にも力を入れていきました。これからも、農村の豊かさ、畑の楽しさを発信しながら、農業者として日々研鑽を積んでいきたいと思っています。



【嶺尾洋人さんと収穫体験をする子どもたち】

むいむいファーム インスタグラム



丹波市農業委員会総会・委員研修会の開催

令和七年七月一日に第二十二回丹波市農業委員会総会を開催しました。現在の委員は、令和七年七月から三年目の活動が始まりました。

総会では、令和七年度の事業計画や地域委員会等の役員構成、市が組織する各種委員会の委員を決定しました。

総会終了後には、委員研修会を開催し、「宅地造成及び特定盛土等規制法（盛土規制法）」について「丹波県民局丹波土木事務所から説明を受けました。

宅地や雑種地等への農地転用に限らず、田から畑への転換を目的とした農地改良（かさ上げ）についても、盛土規制法の適用を受ける場合があるため、かさ上げを目的とした農地の形状変更届出前や、農地転用許可申請前に、丹波土木事務所へご相談されることをお勧めします。



【総会の様子】



【研修会の様子】

農地パトロールの実施

毎年行っております農地パトロールを令和七年八月十五日から二十一日にかけて、市内全域で実施しました。農地パトロールは農地の利用状況・転用許可後の状況の確認、さらに遊休農地の調査等を目的としています。

パトロールの結果、遊休農地は山間部だけでなく、農振農用地区域内の平地についても増加していることを確認しました。

農地が相続されない場合や耕作者の高齢化に伴う離農など、遊休農地となる理由はさまざまです。

遊休農地については、当該農地所有者や耕作者に対し、農地利用最適化推進委員による面談や利用意向調査を行います。農地が遊休化することで、農地集積の支障となり、病害虫の発生を助長し、有害鳥獣の隠れ場所になるなど農業振興や

地域の生活環境に悪影響をおよぼします。

市・県では遊休農地を新たに取得又は借り受けて耕作する場合の補助制度を創設しております。

詳細は、産業経済部農林振興課までお問合せください。

また、農地の管理について、将来への不安やお困りごとは、担当の農地利用最適化推進委員や農業委員にご相談ください。



【農地パトロールの様子】

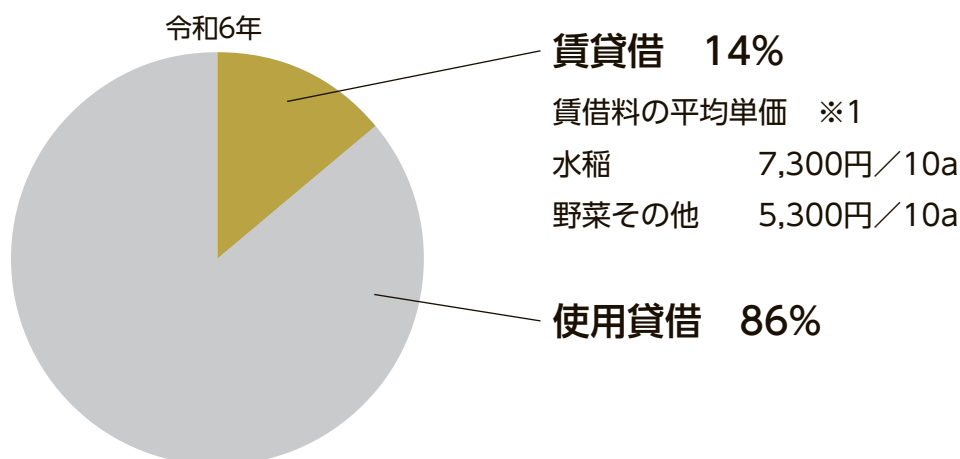
農地の賃借料情報について

農地の貸し借りには、無償で貸借する使用貸借と、借主が賃借料を貸主に支払う賃貸借の2種類があります。過去5年間の貸借における権利設定（使用貸借と賃貸借の件数と割合）の情報を提供します。

件数

区分／年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
使用貸借	1,686件	1,778件	1,684件	1,694件	1,887件
賃貸借	479件	470件	439件	284件	306件
合計	2,165件	2,248件	2,123件	1,978件	2,193件

割合と平均単価



- ※1 令和6年中（令和6年1月1日から令和6年12月31日まで）に農地法及び旧農業経営基盤強化促進法、農地中間管理事業の推進に関する法律により設定された、賃貸借（306件）の賃借料の平均単価です。
- ※2 標準的な賃借料を算出するため、全賃借料の平均値±（平均値×70%）を超えるものを除いています。
- ※3 金額は、算出結果を四捨五入し、100円単位としています。

- 上記の賃借料単価は、あくまでも平均単価であるため、地域性や農地の状況、栽培される作物、水利費等も含め、貸し手・借り手双方により十分に協議し、決定して下さい。



丹波市ホームページ ID : 5050

QRコード



女性農業委員の 活動紹介



【橋本慶子委員(左)と山本浩子委員(右)】

丹波市農業委員会では二名の女性農業委員が在籍しており、農地法に関する申請案件の相談・現地調査だけでなく、女性農業者の相談役として地域で活動しています。

また、市内の女性農業者の会（丹波根っこの会）にも在籍しており、農業委員会の委員活動に関する情報提供や研修会を開催し、農業委員会活動の普及推進に努めています。

地域計画の 策定状況



【説明会の様子】

地域計画とは、将来、地域の農地を誰が利用し、守っていくのか等について、地域の課題を話し合い、「十年後の農地利用の姿」をまとめていく計画です。（地域計画は、策定後も随時見直しを行うことができます。）

丹波市では、「人・農地プラン」が策定されていた七十八集落を、重点的に策定を進め、令和五年度から令和六年度の二年間で、計九十三集落で地域計画が策定されました。

目標地図の素案を作成する中で、農業を担う方の高齢化や、農業経営の状況悪化等の理由により、離農される方が増加しているなど、農業に対する課題が浮き彫りとなりました。

全国農業新聞を 読んでみませんか

農業者の視点でお届けします

- ① 解説に力点を置いた企画編集とニュース報道
- ② 農政・農業・農村の動き、問題をタイムリーに
- ③ 実務情報と経営者マインド
- ④ 読者の心に訴え、ともに生きる
- ⑤ 老若男女が楽しく読める

購読申し込みは丹波市農業委員会へ ☎ 0795-74-1504



発行日・・・・・・・・・・ 毎週金曜日
購読料・・・・・・・・・・ 1か月700円
（※令和8年4月分から1か月900円になります。）

発行：丹波市農業委員会 編集：情報提供検討委員会

委員長 谷田 豊明
委員 畑中 忍
委員 荻野 一馬

副委員長 中村 直樹
委員 西田 明弘
委員 後藤 康介

委員 足立 靖
委員 大隅 保夫

